

新しい歴史が始まる

蘇陽南小学校で 開校式・入学式



蘇陽南小学校の開校式・入学式が4月10日、蘇陽南小体育館で行われました。菅尾・大野・馬見原の3つの小学校が統合された学び舎に、全児童87人が新しい歴史を刻みました。

開校式には、新2年生から新6年生74人の児童と保護者、教職員、地域の方々、学校関係者が出席しました。式では校章・校歌が披露され、作詞作曲した井手公二さん（蘇陽中学校校長）の指揮で、全員が新しい校歌を歌いました。

その後行われた入学式では、13人の新一年生が、在校生の大きな拍手の中や緊張しながらも元気いっぱい入学しました。岩下勇治校長から入学の祝いとともに、元気なあいさつなど3つのがんばってほしいことが1年生に伝えられました。さらに、上級生全員から「いっしょに遊びましょう」と歓迎の歌が贈られました。

蘇陽南小学校は、これまでの3校と同じように、優れた学習環境を生かした教育活動を展開していくことが期待されます。

桜の開花と並行するように、児童87人の楽しい学校生活が、元気よくスタートしました。



開校式で校歌を歌いました。（左が井手公二さん）



元気にお返事できました。

地域とともにあった51年

惜しまれつつ島木へき地保育所 閉所

3月17日、別れを惜むように降り続く雨の中、島木へき地保育所の閉所式が行われ、最後の園児3人と保護者、そして保育所を支え続けた地域の方々など、約140人が参加しました。

島木へき地保育所は昭和36年、町立島木保育所として開所されました。

昭和40年に保育業務が地域に委託されて、まさに「地域の保育所」となります。昭和48年にその管理を社会福祉協議会に移してから、地域の方々の思いは変わりませんでした。

式では、思い出の写真スライドショーや、最後の園児3人による踊りなどが披露され、出席者全員が最後までその閉所を惜しんでいました。

最後の保護者代表としてあいさつした黒田裕一さんは、「6年前から存続を希望し協議を重ねてきたが、つい今日の日を迎えてしまった。最後の年は行事を増やし、子どもたちと過ごせたことは幸せ。51年の歴史は、歴代保護者や地域の方々、先生たちの熱意のおかげ。この保育所に子どもを預けて良かった。」と、あふれる感情を抑えながらその思いを話しました。



最後の園児と卒園児による歌「へき地の四季」



3代にわたりこの保育所を卒園した藤原栄二さん（右・S36卒）、孫の駆くん（中・H23卒）、息子の和也さん（左・H元卒）

保護者代表の黒田裕一さん



矢部小PTA新聞

「にじ」

熊日PTA新聞 コンクールで優秀賞



矢部小PTA新聞「にじ」と
広報委員のみなさん

矢部小学校のPTA広報部が発行する広報誌「にじ」が第32回熊日PTA新聞コンクールで優秀賞を受賞しました。矢部小発足後、初出展で初入賞です。

「にじ」はPTAの広報部（藤川美奈子部長）6人と教職員3人が編集・取材を担当しています。学校での行事や地域と学校の交流行事などを広報委員が交代で取材、児童の声を交えながら、読みやすい文面で紹介しています。1学期に1号ずつ、臨時号1号と、昨年度は4回発行しました。今年度は全号フルカラーの広報紙。臨時号では、運動会と八朔祭の特集を組み、児童の学校での活躍を各家庭に届けました。さらにアンケートを実施し、読んでもらえる広報紙づくりを続けています。

部長の藤川美奈子さんは、「元気な矢部小を発信したいという思いで取り組みました。コンクール初挑戦で初受賞はとてもうれしい。各行事で撮りためた子どもたちの写真を選ぶことが一番苦労したことです。関わってくださったすべてのみなさんに感謝します。」と受賞の感想を話してくれました。

雨の日向往還

日向往還歴史ウォークin山都町

3月17・18日の2日間、日向往還歴史ウォークin山都町が行われました。雨という悪条件でしたが、2日間4つのコースに885人が参加。参加者は歴史ある街道を歩いて体感しました。

今回のコースは、1日目の御船町上野の鼎春園をスタートし、通潤橋を目指す通潤橋へゆっくりコースと浜町散策コース2コース。そして、2日目、通潤橋から馬見原商店街までの馬見原へがんばれコースと馬見原街並み散策コースの2コースが準備されました。

今回も観光協会や日向往還顕彰



浜町散策コース

会、馬見原まちづくり協議会のガイドがありました。また、地域の方々が、コース沿いの公民館を開放し、お茶などを提供する休憩所などを設けました。

今回は、千寿苑で、日向往還の歴史について学ぶことができます。記念シンポジウムが同時に開催されました。大会は2日間とも雨で、コース状況も悪く、ウォーキング日和とはなりませんでしたが、たくさんの方が最後まで参加されました。かつて、旅人を支えた地域の方々のもてなしが、大会を支えていると感じた歴史ウォークでした。



1日目、八勢目鑑橋（御船町）



日向往還歴史ウォーク記念シンポジウムのようす